

## 尼崎市立学校の平成29年度（平成30年2月末現在）いじめの認知状況について

### 1 いじめの認知件数

平成29年度（平成30年2月末現在）の認知件数は、小学校で103件、中学校で74件で、それぞれ前年度同月比で小学校では48件の増、中学校では9件の減となっており、特に小学校での増加が目立つ結果となっている。これは、各学校が尼崎市いじめ防止基本方針及び各学校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめを積極的に認知し、学校全体で組織的に対応していけるような取り組みを進めていることが要因のひとつと考えられる。

なお、平成29年度（平成30年2月末現在）の認知件数のうち、小学校で1件、中学校で1件、いじめの重大事態を認知している。

<いじめの重大事態：法第28条>

いじめにより当該学校に在籍する児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。

いじめにより当該学校に在籍する児童生徒が相当の期間（年間30日間を目安）学校を欠席することを余議なくされている疑いがあると認めるとき。

	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度				平成29年度 (平成30年2月末現在)		
	認知件数	1,000人あたり	うち重大 事態件数	認知件数	1,000人あたり	うち重大 事態件数	認知件数	1,000人あたり	うち重大 事態件数	認知件数	1,000人あたり	1,000人あたり (全国)	うち重大 事態件数	認知件数	1,000人あたり	うち重大 事態件数
小学校	19	0.9	0	75	3.4	0	50	2.3	0	59	2.7	36.5	0	103	4.8	1
中学校	35	3.4	0	54	5.4	0	31	3.1	0	85	8.6	20.8	0	74	7.6	1

平成26年度以降については、「初期段階のいじめ」、「ごく短期間のうちに解決したいじめ事案」、「対人関係のトラブルと捉えていた事例の中に、いじめと認知すべきものがあった可能性」を踏まえうえで、いじめの認知件数に計上する。（文部科学省の通知による）

また、平成29年度から、けんかやふざけ合いであっても、見えない所で被害が発生している場合もあるため、背景にある事情の調査を行い、児童生徒の感じる被害性に着目し、いじめに該当するか否かを判断する。（国のいじめ防止基本方針に追記）

### 2 いじめの態様（平成29年度は集計中のため平成28年度分を計上）

平成28年度はいじめの態様別では、小・中学校ともに、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」がもっとも多く、小学校25件、中学校39件となっているが、全体に占める割合では、前年度対比で小学校62.5% 35.2%、中学校51.0% 40.6%と減少している。それに代わって小学校では、以外の各項目で全体に占める割合が増加し、中学校では、「その他」が16.3% 37.5%と増加しており、中でも「金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする」が0% 12.5%と大きく増加している。

（単位；件）

いじめの態様 態様の項目	平成27年度				平成28年度			
	小学校	構成比	中学校	構成比	小学校	構成比	中学校	構成比
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	35	62.5%	25	51.0%	25	35.2%	39	40.6%
仲間はずれ、集団による無視	6	10.7%	7	14.3%	13	18.3%	7	7.3%
軽くぶつかる、遊ぶふりをして叩く、蹴る	6	10.7%	9	18.4%	14	19.7%	14	14.6%
その他 ・ひどくぶつかる、叩く、蹴る ・金品をたかられる ・金品を隠す、盗む、壊す、捨てる ・嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされる、させられる ・パソコンや携帯電話等での誹謗中傷等	9	16.1%	8	16.3%	19	26.8%	36	37.5%
合計（複数回答）	56	100.0%	49	100.0%	71	100.0%	96	100.0%

### 3 いじめの発見のきっかけ（平成29年度は集計中のため平成28年度分を計上）

平成28年度はいじめの発見のきっかけでは、小学校では、「当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え」が24件(40.7%)ともっとも高くなっている。中学校では、「本人からの訴え」が38件(44.7%)ともっとも高くなっており、前年度対比でも19.4% 44.7%と大幅な増加となっている。また、「学校の教職員等が発見」が12.9% 22.4%と増加しており、この結果からも、いじめの積極的な認知の意識が浸透してきていることが考えられる。

(単位;件)

いじめの発見のきっかけ		平成27年度				平成28年度			
		小学校	構成比	中学校	構成比	小学校	構成比	中学校	構成比
学校の教職員等が発見		22	44.0%	4	12.9%	16	27.1%	19	22.4%
内 数	学級担任が発見	18	36.0%	2	6.5%	11	18.6%	8	9.4%
	その他 ・学級担任以外の教職員が発見 ・アンケート調査など学校の取組により発見	4	8.0%	2	6.4%	5	8.5%	11	13.0%
学校の教職員以外からの情報により発見		28	56.0%	27	87.1%	43	72.9%	66	77.6%
内 数	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	16	32.0%	19	61.3%	24	40.7%	23	27.0%
	本人からの訴え	4	8.0%	6	19.4%	9	15.3%	38	44.7%
	その他 ・児童生徒(本人除く)からの情報 ・保護者(本人の保護者除く)からの情報 ・学校以外の関係機関(相談機関含む)からの情報 ・その他(匿名による投書など)	8	16.0%	2	6.4%	10	16.9%	5	5.9%
合 計		50	100.0%	31	100.0%	59	100.0%	85	100.0%

以 上